

## 第41回日本病理学会関東支部幹事会議事録

平成20年12月6日(土) 11:00-12:00

自治医科大学地域医療情報研修センター(2階、中講堂)

出席： 根本則道、清水道生、仁木利郎、梅村しのぶ、大橋健一、鈴木良夫、菊地和徳、小山敏夫、  
小林槇雄、杉谷雅彦(敬称略)

欠席： 内藤善哉、羽野寛、山本浩嗣(敬称略)

### 報告事項

1. 第40回関東支部学術集会は平成20年9月6日(土)、東京女子医科大学病理学、小林槇雄教授のお世話で開催された。テーマは「一般病理医のための脳腫瘍診断」、特別講演1題、教育講演3題、一般演題3題であった。本学術集会は東京脳腫瘍研究会の協力を受けた。
2. 第41回関東支部学術集会(第129回東京病理集談会)は平成20年12月6日(土)、自治医科大学病理 仁木利郎教授のお世話で開催される。教育講演2題、「市中病院における病理解剖の現況」(鈴木良夫先生、国保旭中央病院臨床病理科)、「病理解剖を考えるー解剖技術を中心にー」(藤岡保範先生、杏林大学医学部病理)、剖検症例提示5題。
3. 第42回関東支部学術集会は平成21年3月21日(土)、千葉大学病理 中谷行雄教授のお世話で開催予定である。感染症の病理をテーマとして取りあげる事が紹介された。
4. 6月の学術集会・総会については支部会員全員に往復葉書でお知らせし、以後の学術集会案内の通知方法について希望を尋ねた。その結果、平成20年6月時点での関東支部会員1524名中、9月の学術集会案内は、メール約600人、はがき約200人に通知した。数十名は通知不要、残りの会員からは返信が無く、特段の連絡をしていない。関東支部ホームページ上には学術集会案内を掲載している。
5. その他

### 審議事項

1. 第43回関東支部学術集会は平成21年6月頃開催予定。世話人については東京医科歯科大学江石義信教授が推薦された。
2. 第44回関東支部学術集会は平成21年9月頃開催予定。世話人については帝京大学今村哲夫教授が推薦された。
3. 第45回関東支部学術集会(第130回東京病理集談会)は平成21年12月頃開催予定。世話人については防衛医科大学河合俊明教授が推薦された。
4. 関東支部主催夏期病理診断セミナーについて話し合わせ、若手病理医のためのセミナーは意義がある、2年に一度くらいの頻度で開催してはどうか、等の意見が出された。
5. 21年度幹事の半数交代について話し合われた。
6. 支部学術集会と各都県学術集会の関係について話し合われた。
7. その他：医師の診療科偏在が問題になっているが、日本医師会の「医師確保のための実態調査」で、診療科別では病理医が最も不足していることが、数値として明らかにされた、ということが紹介された。